

本資料は 11 月 3 日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください
<https://bit.ly/3WC8VsV>

2022 年度第 3 四半期 市場シェアが増加、粗利率と売上高が成長

[2022 年 11 月 3 日 スイス・チューリッヒ]

2022 年第 3 四半期ハイライト

- 営業日数調整後の既存事業売上高¹は前年同期比 6%増、報告ベースの売上高は前年同期比 16%増
- Adecco 事業が成長を牽引；相対的な売上高の成長は前四半期比 500bps 増、前年累計同期比 1300bps 増
- 既存事業の粗利率は前年同期比 5%増、人材紹介事業の手数料収入は 23%増
- 粗利率は、ビジネスミックスの改善とプライシングにより 21.0%と強力に成長
- 一時的要因を除く EBITA 利益率は 3.6%、コンバージョン率と生産性は前四半期比で改善。前年同期比は、Adecco と LHH の投資計画、および特別項目からの利益減を反映
- 営業利益は 1 億 6400 万ユーロ；基本的 EPS は 0.65 ユーロ；調整後 EPS は前年同期比 17%減の 0.90 ユーロ
- AKKA の業績は順調；2023 年の収益シナジーは 4000 万ユーロ超、2022 年末の EBITA シナジーの総額は 4000 万ユーロ超

Adecco Group CEO のデニ・マシュエルは次のようにコメントしています。

「当グループは、Adecco 事業の成長を主導する立場に戻るというコミットメントを実現し、当四半期に力強い前進を遂げました。Akkodis GBU の業績は引き続き好調で、シナジー効果の獲得を含む AKKA の統合は引き続き順調に進んでいます。LHH では、Ezra と Hired の両方が健全な成長を遂げ、デジタル投資にも前向きな勢いが見られました。

今後につきましては、すべての GBU において成長を加速させ、EBITA 利益率をトップレベルにまで回復させたいと考えています。このような優先事項のもと、本日、Adecco Group の実行力を高めるための詳細な業務計画を発表します。『Future@Work Reloaded』と名付けたこの計画は、既存戦略の実行を加速させ、外部からの向かい風に対する耐性を強化し、事業と財務の双方のパフォーマンスを改善するものです。私は、当社が持つ資産を強く信じています。この計画によって、当社の潜在力を引き出し、当グループの EBITA 利益率を 6%程度にすることをコミットいたします」



< 主な数値 >

2022 年度第 3 四半期

単位：100 万ユーロ	2022 年度 第 3 四半期	2021 年度 第 3 四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業 成長率
売上高	6,044	5,220	+16%	+6% ¹
売上総利益	1,267	1,086	+17%	+5%
EBITA 利益 ² (一時的要因を除く)	215	250	-14%	-15% ³
営業利益	164	196	-16%	-15%
当期純利益 ⁴	108	133	-19%	
Basic EPS	0.65	0.83	-22%	
Adjusted EPS ⁵	0.90	1.08	-17%	
粗利率	21.0%	20.8%	+20bps	(10)bps
EBITA 利益率 (一時的要因を除く)	3.6%	4.8%	(120) bps	
営業活動によるキャッシュフロー	110	224	-114	
キャッシュコンバージョン比率 ²	46%	69%		
EBITDA への純有利子負債 ²	2.6x ⁶	0.2x		

特に断りのない限り、本リリースに記載されている成長率はすべて前年同期比です

*1：営業日数調整後の既存事業売上高ベース

*2：本リリースにおける Non-GAAP 指標の使用に関する詳細は、2021 年版年次報告書の「財務情報」および「追加情報」をご参照ください

*3：恒常通貨ベース

*4：Adecco Group の株主に帰属する

*5：この Non-GAAP 指標の説明については、英語原文の 13 ページをご参照ください

*6：AKKA の株式取得にともなう調整後（プロフォーマ）

【本件に関するお問い合わせ】

Adecco Group Japan 広報部

Tel. 050-2000-7024